

「多文化交流プラザ」から

多文化交流プラザの隣にある「ワイワイサークル」では、多文化交流に関するイベントを実施しています。中国語を楽しむ「你好!中国語」は毎回好評で、定員一杯になります。本年度から始めた外国語相談員が自国を紹介する「旅する気分♪外国語」は、毎月1回土曜日13時30分から。是非とも参加してみてください。



「岐阜市立中央図書館」から

長良川で行われる夏の風物詩、鵜飼。実は岐阜市の「長良川鵜飼」と関市の「小瀬鵜飼」を総称して「長良川鵜飼」と呼ばれていることをご存じですか。鵜飼のアレコレを図書館の展示グループで紹介しています。鵜匠や鵜だけでなく鵜舟、篝火、貼のことなど、関連資料も並んでいますので、色々知って鵜飼を楽しんでください。



開放感のある非日常的な空間が魅力的です。子どもと一緒に月に2回程度訪れます。いつか子ども絵本のコーナー以外もゆっくり見たいです。



VOICE 04 山本知果さん

図書館や1階のフリースペースには自分たち以外にも勉強に励んでいる人たちがたくさんいて、周りを見て頑張ろうという気持ちになります!

VOICE 03

渡辺さん親子



MEDICOS NEWS

VOL.08

1 生まれ年の新聞を読んでみよう

古い資料が保管されている「本の蔵」で、自分の生まれ年の「新聞縮刷版」を見るのが実に楽しい。氷河期世代のおじさんが昭和53年5月の新聞をめくとく…。一面は殆どが成田空港開港に関する記事。さぞや祝福ムードかと思いきや、反対派や過激派を警戒してそれどころではなかった模様。今は大活躍の空港にも、そんな歴史があったのですね。スポーツ欄には王、張本、具志堅など伝説たちの名前がズラリ。ぜひ、生まれ年の新聞をめくってみてはいかが。



2 あなたは知っているか。「みんなの森フォント」

メディコのロゴには独特なフォントで「みんなの森」と配置されていますが、これはメディコのために作った特別な文字「みんなの森フォント」です。実は、スタジオやギャラリーの入り口横にある看板の「考」「踊」など、ロゴ以外でも使われています。2階に上って本棚を見ると…また見つけました。本棚側面の図書の分類の数字や文字がこのフォント。細かいところは時計の文字盤の数字も。みなさんも館内でおしゃれなフォントを探してみてください。



【みんなの森 ぎふメディアコスモス】
〒500-8076 岐阜市司町40-5
TEL.058-265-4101 <https://g-mediacosmos.jp/>
季刊 メディコ文化道 VOL.08 (2023年3月発行)
発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス
編集・デザイン / さかだちブックス(株式会社トリクリエティブセンター)



MEDICOS
BUNKA
MICHI

文化道
メディコス

季刊

VOL.08



【特集】

岐阜のまちの編集者を育む、「メディコス編集講座」第2期

【岐阜の文化地図】

川原町・長良エリア



【特集】FEATURE

岐阜のまちの編集者を育む、「メディコス編集講座」第2期



2022年11月から地域で活躍する編集者を育む「メディコス編集講座」の第2期が開講。半年間にわたり、25人の受講生が編集力を鍛えました!

【講座テーマ】

第1回 2022.11.6	書きたいことを多面的に観察する方法	第4回 2023.1.15	写真も撮れる編集・ライターになるための、インタビューカットの撮り方
第2回 2022.11.13	情報整理してみんなで書いてみよう!	第5回 2023.2.4	見出しとタイトルをつけてみよう
第3回 2022.12.11	校正を受けてみよう!	第6回 2023.2.26	学びの棚卸しと卒業制作に向けた現在地



REPORT | 第4回

写真も撮れる編集・ライターになるための、インタビューカットの撮り方

生き方編集者の山中康司さんを講師に迎え、「写真も撮れる編集者・ライターになるためのインタビューカットの撮り方」をテーマに講座が行われました。受講生は前半に座学で撮影のポイントを学び、後半は5つのチームごとに実際に練習出し、実際に取材をしながらインタビューカットを撮影。最後に写真とキャプションで、取材結果を共有する「フォト紙芝居」で講座の成果を発表し、白熱したノンストップの4時間となりました。

記者 / メディコス文化道編集部
撮影 / おくむら 裕美 (メディコス編集講座第1期生)



REPORT | 第5回

見出しとタイトルをつけてみよう

講師はコピーライターの丸原孝紀さん。前半に、ことばに向かうスタンスやコツを学び、後半は、第4回講座の取材記事にタイトルをつけるグループワーク。内容について話し合いながら、キーワードを挙げ、想像力を働かせ、40分があっという間に過ぎていきました。丸原さんの講評を経て、出来上がったタイトルとは…。「相手を想う」ことを大事に紡ぎ出されたタイトルから、ぜひ実際の記事を読んでみてください。

記者 / 池田 亮子 (メディコス編集講座第1期生)



Interview Photo by 受講生

Aグループ

岐阜土地興行株式会社 磯谷 貴彦さん

Bグループ

柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社 福富 梢さん、土肥 彩香さん

Cグループ

三河亭 服部 恵美さん

Dグループ

岐阜善光寺 松枝 朋子さん

Eグループ

みんなの森 ぎふメディアコスモス 吉成 信夫さん

講師 山中康司さん

【配慮はするけど遠慮はしない】ことが大切です。全グループの撮影を見せてもらいましたが、僕も思いつかなかったような構図のカットもあり驚きました!

Eグループのタイトル講評例

受講生: メディコス総合プロデューサーの吉成さん取材した記事のタイトル3つを作成しました。「メディコス」と「吉成さん」のどちらにも重きを置けが難しかったです。

案1: やさしい!もっと改めてもOK! 「次は何をやりたいですか?」「屋根のついた公園」をつくりあげた...
「メディコスとわかる」とい

案2: 理解に時間がかかる? 「次は何を仕かけますか?」「屋根のついた公園」を生み出した、メディコス総合プロデューサー 吉成 信夫さん
今までにない図書館づくりに挑む...

案3: すぐ分らなかった...! 「ヴィレバン」を超えていけ! 図書館でヒップホップ講座を実現させた...

講師 丸原孝紀さん: どのタイトルも中身の面白さが伝わってきますよ。人と施設のバランスを考えられているなどと思いましたね。

講師 丸原孝紀さん: 完成したタイトルコピー 「次は何を仕かけますか?」「屋根のついた公園」を生み出した、メディコス総合プロデューサー 吉成 信夫さん
記事はこちらから!

メイン講師からのひとこと

greenz.jp副編集長 スズキコウタ氏

受講生はみなさん積極的で、ローカル愛が強く、講座の時間外もSlack*が活発に動いています。講座で学べることは撮影や執筆のスキルだけでなく、「編集」をどう考え役立てるかです。培った編集力で修了生が、岐阜のまちをどう面白くしていくのか楽しみにしています。
*Slack...オンライン上のコミュニケーションツール

講座の参加者、取材対象者との出会いは、私の岐阜ライフを豊かにしてくれました。人に会い、話を聞き、文章で表現することがこんなにも楽しいとは!

奥村 理恵さん

岐阜で活躍される方へのインタビューや受講生同士での校正など、編集講座でなければできない体験があり、「編集」について深く網羅的に学べました。

小野木 克允さん

「編集は思いやりだ」と感じました。伝えたいことを独りよがりではなく、届けたい相手を想い「伝わる」発信ができるようになりました。

藤井 智子さん

コーラルピンクのチラシ、裏面に記載された講座内容に心を掴まれました。粘り強く考えて書くことは簡単じゃないけれど、続けたいと思えた講座でした。

小笠原 ゆきさん

岐阜の文化地図 08

CULTURAL MAP

川原町・長良エリア



2022年春にメディコス内にオープンしたシビックプライドプレイス「ぎふ古今」は、岐阜市の歴史・ひと・文化の情報や魅力が集まる文化拠点です。「まち歩きステーション」にある端末では、16のテーマからさまざまなスポットを探してオリジナルのまち歩きマップが作れます。今回は、さかだちブックス編集部が選んだ「川原町・長良エリア」のマップを大公開！

① QQ 実験所

テーマ／なんやろね

令和4(2022)年5月にオープンした、手仕事で作られた日用雑貨や健康的な食品を扱うお店。アジアやメキシコ、アフリカといった世界各国や日本各地から集められたアイテムは、素材を生かした素朴なものから、目を奪われるカラフルなものまで、思わず手に取りたくなるものばかり。個性豊かな雑貨たちが並びながら不思議と統一感がある店内は、まるで外国の市場にいるような高揚感に包まれている。

岐阜市長良福光2621-1
11:00～18:00
月・火・木曜定休



② &n (アンドン)

テーマ／カルチャー

令和元(2019)年5月に、地域の有志が“長良を楽しむ場所を作ろう”とオープンした3階建ての建物には、川魚直売所やイタリアンレストラン、食堂、バー、花屋、ライフスタイルショップ、アトリエが店舗。SUPや漁船ツアーなどのイベントが行われたり、ワーキングスペースやレンタルアトリエとして活用されたりと、多彩な楽しみ方が展開されている。

岐阜市長良45-1
9:00頃～22:00頃 ※店舗により異なる
年末年始休み



③ 長良川デパート

テーマ／紙・あかり

平成28(2016)年に築100年以上の町家を改修してオープンした、長良川流域生まれの伝統工芸品や雑貨、土産品を扱うショップ。職人が手掛けた岐阜和傘や提灯、美濃和紙でできた便箋など、選りすぐりの品々がセンス良く並び、令和4(2022)年3月のリニューアルでは、売り場面積が約3.5倍となり、長良川流域で育まれた地酒や食品、衣服など扱う商品も約1700種類に充実した。

岐阜市長良45
10:00～18:00
火曜定休、年末年始休み
TEL.058-269-3858



④ 食堂こより

テーマ／デーツスポット

川原町の古いまちなみにある、築140年の町家を活用した和食店。市内にある創作和食の名店「槽」で料理を学んだ店主が、地域の人と観光客をつなぐ飲食店を目指し、令和元(2019)年にオープンした。旬の地元食材を豊富に取り入れた料理は、どれも繊細で上品な味わい。昼は時季にあわせた「旬替り定食」、夜は「旬のおまかせコース」を、趣ある店内でゆったりと楽しむことができる。

岐阜市玉井町36-1
昼11:30～13:30(LO)
夜18:00～20:00(LO)
火曜定休、夜は不定休
TEL.058-214-9230



⑤ 川原町 Gallery Sagan

テーマ／カルチャー

長年、東京で編集者を務めた店主が「アートする人を応援したい」と、令和4(2022)年にオープンしたギャラリー。展示作品は絵画、陶芸、写真などジャンルを問わず、2週間から1ヶ月ごとに入れ替わる。長い会期を設けているのは一人一人の作品をじっくり味わってほしいという想いから。入場は無料。展示スペースに隣接する書斎では、壁面を埋め尽くす本に囲まれ、コーヒーを飲んで一息つくこともできる。

岐阜市元浜町35-11
11:00～17:00
水・木曜定休
TEL.090-7424-8924



⑥ ドイツ デリカテッセン クリンゲン

テーマ／新たな食文化

ドイツで修業を積んだ店主が営む、岐阜県産の素材にこだわった本格ドイツ製法のハム・ソーセージを製造・販売する専門店。ハム・ソーセージのほか、パテやベーコン、コンビーフなどの加工品や自家製の惣菜がそろい、土日祝日には限定のローストポークやミートローフも並ぶ。ウインナーやホットドッグはテイクアウトも可能で、城下町のまち歩きのお供にも最適。

岐阜市西材木町26
10:30～18:00
火曜定休、不定休あり
TEL.058-263-0506



⑦ 岐阜城

テーマ／信長と道三

金華山の山頂に位置し、かつては稲葉山城とも称され、難攻不落の城として知られた。戦国時代には斎藤道三の居城となったが、永禄10(1567)年に織田信長が攻略し、城下町の地名を「井口(いのくち)」から「岐阜」に改称して天下統一の足掛かりとした。現在は昭和31(1956)年に再建された復興天守がそびえ、楼上からは岐阜市内が一望できる。GWや夏休みなどは期間限定で夜景も鑑賞できる。

岐阜市金華山天守閣18
9:30～17:30(3/16～10/16)、
9:30～16:30(10/17～3/15)
※1/1のみ6:30～16:30
※諸事情により時間変更あり
無休
TEL.058-263-4853



⑧ 名和昆虫博物館

テーマ／歴史を歩く

ギフチョウの発見者、名和靖(やすし)氏が正8(1919)年に開館した現存する日本最古の昆虫博物館。1階は国内最古のギフチョウをはじめ、日本産のチョウや世界の珍しい昆虫、2階は世界のチョウを展示し、約1万2千種、30万頭以上の標本を所蔵する。近代西洋建築の父・武田五一氏の設計で、博物館は文化庁の登録有形文化財、隣接する記念昆虫館は岐阜市重要文化財に指定されている。

岐阜市大宮町2-18
10:00～17:00
火・水・木曜定休(祝日は開館)
※夏休み・春休み期間は無休
TEL.058-263-0038



⑨ 岐阜大仏(正法寺)

テーマ／紙・あかり

寛政6(1794)年から38年の歳月をかけて建立された、日本三大仏の一つに数えられる大仏。高さ13.7mと乾漆仏としては日本一の大きさを誇る。真柱は大イチョウの木、骨格は木材で組み、外形は編んだ竹材で作られ、その上に粘土、経文が書かれた紙、漆と金箔が施されて仕上げられている。大仏殿に鎮座する荘厳な佇まいと微笑みかけるような表情は、訪れる参拝者の心を癒してくれる。

岐阜市大仏町8
9:00～17:00
無休
TEL.058-264-2760



川原町・長良
エリアの

まち歩きマップ



金華山山頂に織田信長公が天下統一を目指す拠点とした岐阜城を擁し、1300年以上の歴史を持つ鶺鴒文化が今も人々を魅了する、岐阜市の象徴的な地域です。信長公は美濃国を攻略した際に、地名を「井の口」から「岐阜」に改めたとされています。その風光明媚な景色から、近代以降も市民の憩いの場として、また観光資源の中心としても発展してきたこのエリアを、マップを片手にその歴史をたどりながら、めぐってみましょう。

川原町・長良エリアの歴史ギャラリー

シビックプライドプレイスにある「ぎふ歴史ギャラリー」の端末では、古い地図や写真を通して、江戸時代から令和までの岐阜のまちの歴史に触れることができます。川原町・長良エリアの歴史を写真からたどってみましょう！

<p>a 堤防改修前の長良川</p> <p>昭和初期まで3つに分派し、水害が多かった長良川だが、写真の右2つの河川(古々川、古川)の締切、堤防改修により水害は減少した。</p>	<p>b 岐阜城の模倣城</p> <p>慶長5年の関ヶ原の戦いの前哨戦で落城した城跡に、明治43年に竣工。その後昭和18年に焼失し、現在の岐阜城は昭和31年に再建された。</p>	<p>c 大正時代頃の名和昆虫研究所</p> <p>明治29年、「昆虫翁」名和靖氏により京町に設立。明治37年に岐阜公園に拡張移転。写真左の建物は明治40年完成の特別昆虫標本室。</p>
<p>d 長良川畔の旅館街と貸ボート</p> <p>長良川畔の旅館街は、昭和43年の長良川温泉開湯から、岐阜市観光の中心として発展した。貸ボートは昭和40年代まで利用できた。</p>	<p>e 昭和31年に落成した岐阜城</p> <p>岐阜市民が切望した岐阜城の再建。城戸博士の復元案を基に、2代目復興天守が完成し、落成式が盛大に行われた。</p>	<p>f 昭和59年の岐阜公園</p> <p>当時の岐阜公園は、動物園、水族館、県図書館などを併設した総合公園で、ペンギンやサル、シカなどが飼育されていた。</p>
<p>g 平成9年夏の長良川の河原</p> <p>夏の長良川の河原は、たくさんの市民が集まる憩いの場の一つで、バーベキューや川遊びに興じる姿が多く見られた。</p>	<p>h 長良川プロムナード</p> <p>平成16年度に整備された、長良川右岸に1.3km続く遊歩道。金華山や長良川を眺めて散策が楽しく、シーズン中は鶺鴒観覧ができる。</p>	<p>i 平成8年の岐阜公園</p> <p>写真は現在の「信長の庭」付近。岐阜公園の歴史公園化により日本庭園が整備される前は、遊具が並ぶ子どもたちの遊び場であった。</p>

川原町・長良エリアの未来予想図

かつてのように、チャレンジに寛容なまちに
日本初の模倣天守の建設や、躍進日本大博覧会の開催など、岐阜市は新しいこと好きな土地柄でした。今はそれが薄れているので、チャレンジに寛容なまちになってほしいです。鶺鴒は素晴らしいですが、伝統文化は継承するだけでなく、自分たちも時代の一員として歴史を“つくる”ことが大切。失敗しても小さくても、挑戦しなければなりません。

温泉を引き直して、木造遊歩道を建設？！
長良橋から鶺鴒橋にかけて、橋を渡って一周すると、皇居一周とほぼ同距離で、ランニングに最適な景色と距離です。ここに木造遊歩道を敷けば、川を渡って回遊する人が増え、さらにパイプが老朽化している長良川温泉も交通公園跡地から引き直すことで、途中で足湯に入ることも。夏には鶺鴒観覧ができ、岐阜市の宝の土地になるでしょう。

未来予想をした人！

宮部 賢二さん
金華山研究者。「金華山だより」発行人。趣味は金華山登山のほか、水彩画を描くこと。